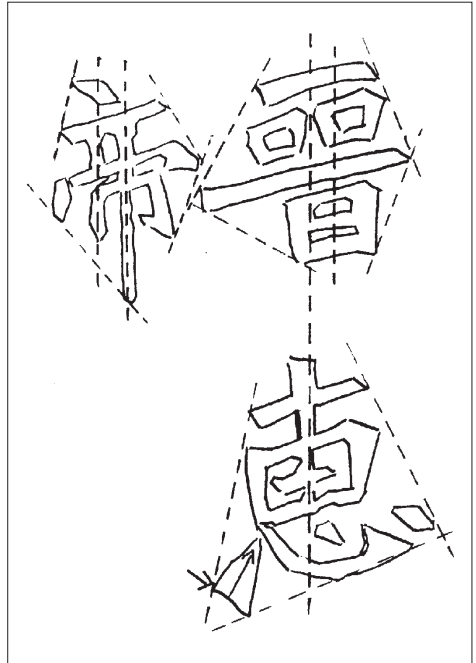


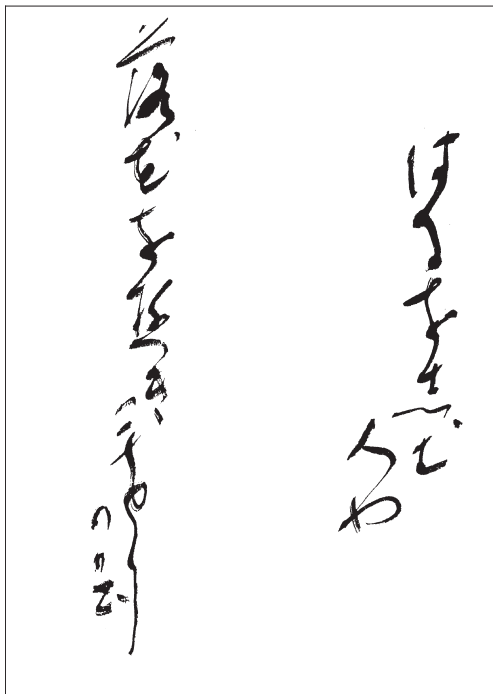
◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



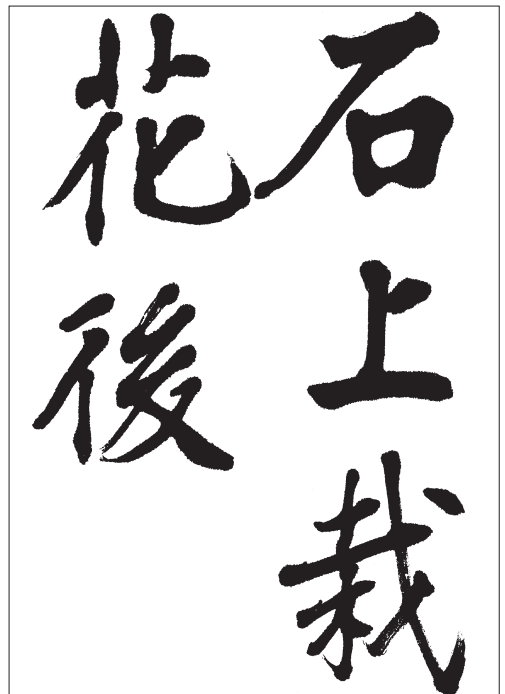
張猛龍碑 (北魏)

- 1、字句 晉惠帝
- 2、形式 半紙タテ使用。右に「晉惠」、左に「帝」と二行に臨書し、左下余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観 今回から「張猛龍碑」の特徴を詳細に観ていきたい。まず横画ですが、起筆は、先月でも書いたように多様な入筆がなされています。代表的な入筆は、「平・之・世・孫」などですが、鋒先を右上から入筆し、鋒先を上(九十度に近い角度)に向け筆を突き、筆管をやや左の方へ倒して右へ押し進めていきます。この用筆でも、中央に向かって筆を引き上げ収筆に向かって押す方法と、起筆から収筆まで押し進める方法が観られます。他の細線などは、三十度から九十度まで実にさまざまな角度で入筆しています。このような用筆ですと力強く、切れ味の鋭い線を表出できます。
- 4、各字のポイント
  - 晉 一画目起筆は八十度ぐらいい入筆か。収筆では右下に引き抜く。「口」は右側をやや大きく。長横画は九十度に入筆。左に長くつき出し強調する。「日」は縦画を太目に。
  - 惠 横画はすべて右上がり。三画目の転折では強く筆を突き、弾力を利用して縦画は筆を引き上げる。「心」の一画目は三十度ぐらいの角度で入筆し、下から上に引き上げる。「心」横に広く構える。
  - 帝 一画目の点は三角形で少し左側に位置し、四画目まではやはり左側に。以後は右側に。終画の縦画は、四画目の縦画(点)の下に位置する。

昇試第三部 (漢字・かな) (予告) (三月二十二日締切)



平岡華雪先生書 春をむむ人や落花を行もどり(召波)



平岡華雪先生書 石上花を栽て後、(生涯共に是れ春)(貞和録)

書 選 — 乙未 —



鈴木静村会長書

ひつじ



平岡華雪先生書

寿

〵羊〵は私の大好きな漢字の一つ。  
 羊（山羊）の毛は細いもの太いもの  
 多様で、しかも墨の含みが良く磨り  
 減りにくく、長く愛用できます。洗っ  
 た段階で穂先が“飴色”のものがよ  
 い筆。良し悪しの判断がしやすいの  
 です。また、羊の肉は中国では上等  
 とされ、“羊頭狗肉”ということわ  
 ざが生まれたほど中国文化の根本と

# 新春

高橋香樹主幹書

鶴舞



なっています。寒いこの時期、羊肉で力をつけ、羊毛筆で微妙な線質を味わって下さい。祈健筆。(会長)

石田愁華先生書

群羊を駆る



(今月は新春書選の作品を随意部参考とします。)

張猛龍碑



西中郎將・使持節・平西將軍・涼州刺史

条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。

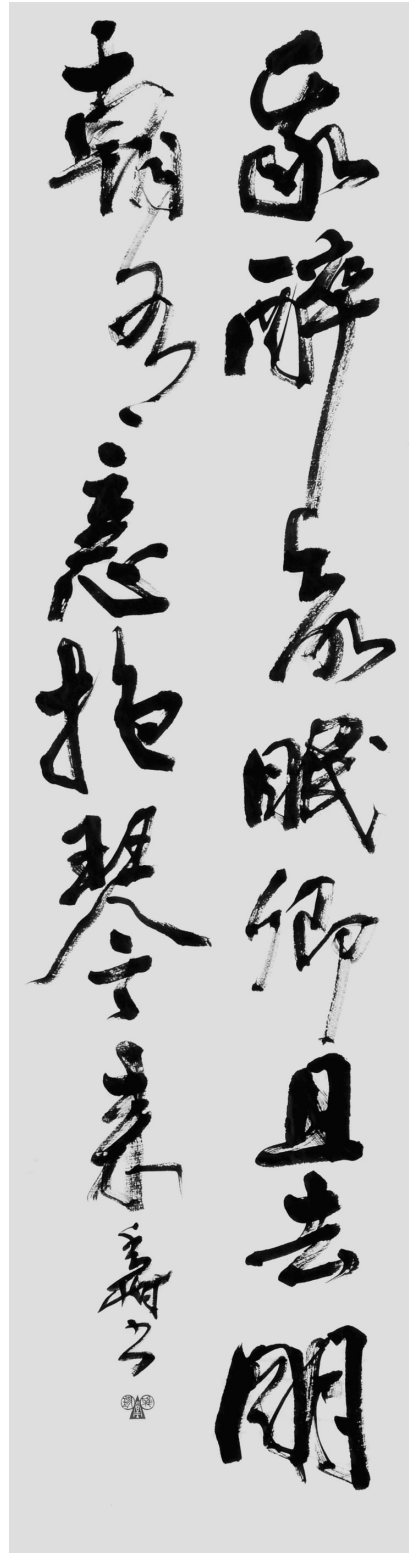


◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。



A 高橋香樹主幹書

我醉欲眠卿且去 明朝有意抱琴來 (李白)  
我酔うて眠らんと欲す卿且く去れ、明朝意有らば琴を抱いて来れ。



B 鈴木静村書

今回も行草書としました。草書は「我・欲・有」の三字。一行目二行目共に上部は右から左へ流れ、右行は「且去明」で右から左へ、二行目は「抱琴来」で左から右へ流す。一行目は「醉」の末筆の長縦画で、二行目は「有」の点「意」の点で流れをつくる。墨継ぎは「且」と「意」。



我 一画目、突いて弾き返す。醉 旁の「返し」で空間欲しい。欲 旁の三点は、どちらか切る。眠 点はなくとも可。卿 下に間違いやすい。明朝 連続し朝は草体。意 立二、三画の弱い線を真似ないこと。抱 偏が大事。琴 草体。末画点は軽く。来 右払いには真横に暢びやか。

訳：私はもう眠りたい。あなたはしばらくお帰りになって下さい。明朝、お気持ちに向いたならば、琴をたずさえてお訪ね下さい。

予告 昇試第一部漢字(三月二十二日締切)

無事看山如對客

有時隱几亦忘吾 (林尚仁)

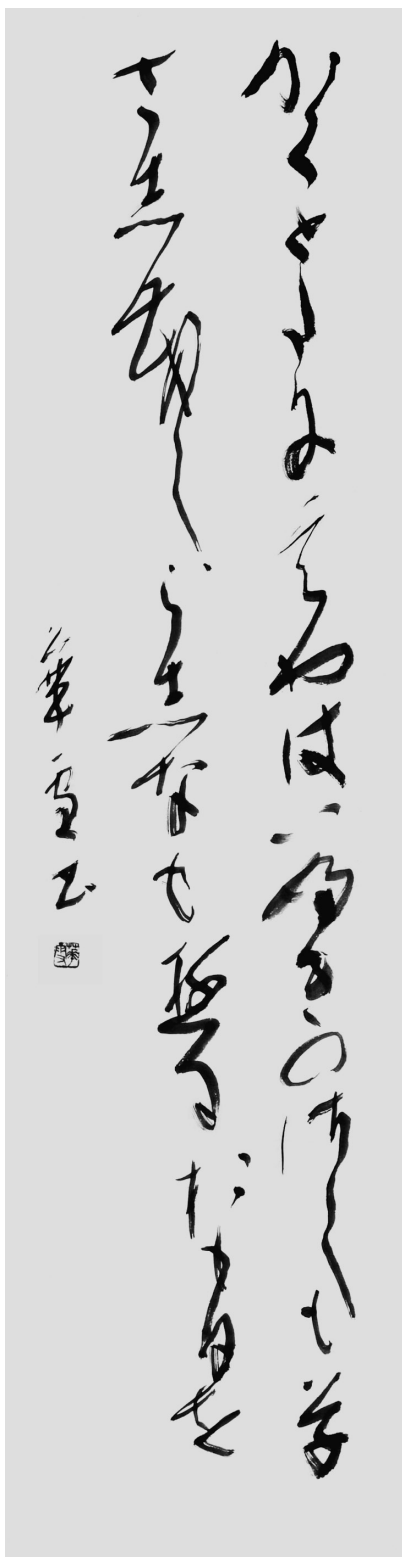
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

かくとだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを  
かくと多<sup>た</sup>尔<sup>に</sup>えやはい婦<sup>ふ</sup>きの佐<sup>さ</sup>しも草<sup>さ</sup>さ志<sup>し</sup>茂<sup>も</sup>しらし志<sup>し</sup>なも遊<sup>ゆ</sup>る於<sup>お</sup>も日<sup>ひ</sup>を

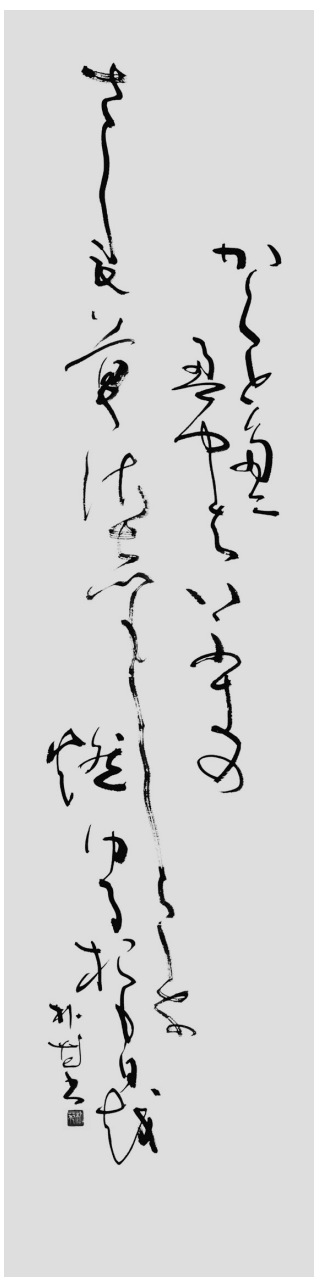
(藤原実方朝臣 百人一首)



B

向山朴花先生書

かくと多<sup>た</sup>二<sup>に</sup>盈<sup>え</sup>や者<sup>は</sup>いふ支<sup>さ</sup>のさし毛<sup>も</sup>草<sup>さ</sup>佐<sup>さ</sup>志<sup>し</sup>もしらし奈<sup>な</sup>燃<sup>も</sup>ゆる於<sup>お</sup>も日<sup>ひ</sup>越<sup>こ</sup>



学び方

歌意：こんなにもあなたを恋していること、よも御存知ないでしょうね。この燃えるような胸のうちを。

四行書きです。全体を見ると一・二行をかたまりとして、稍小ぶりの字でまとめ、三・四行目を盛り上がるようにしました。「し」が一行に四ヶ所ある為、字形・長短・角度で文字に変化をつけました。「さしも」の「し」は、止めをはね上げ「も」に続ける連綿、「しらしな」の初めの「し」は、ゆったりした長い曲線で右寄りに引く線、下の「し」は、短かめの単純な線にしました。三行目の濁筆部分「佐志もしらしな」の長い連綿は、筆圧に強弱をつけながらリズムよく軽いタッチで連綿しました。四行目、墨を入れ歌の意とするとところを強調するようにして引き締めました。

出典：後拾遺集。恋一「女にはじめてつかはしける藤原実方朝臣」とある。実方は、時の宮廷の花形の一人。清少納言とも親しかった。後、陸奥守となる。

鑑賞：百人一首にある歌。四句切れ。掛詞、序詞、縁語、倒置法を巧みに詠み込んだ手法は見事。技巧は複雑だが、内容は単純で、強烈な表現をもって生き生きとした感情を伝えている。こうした技巧は、古今集以後に多く好まれた。

予告 昇試第一部かな(三月二十二日締切)

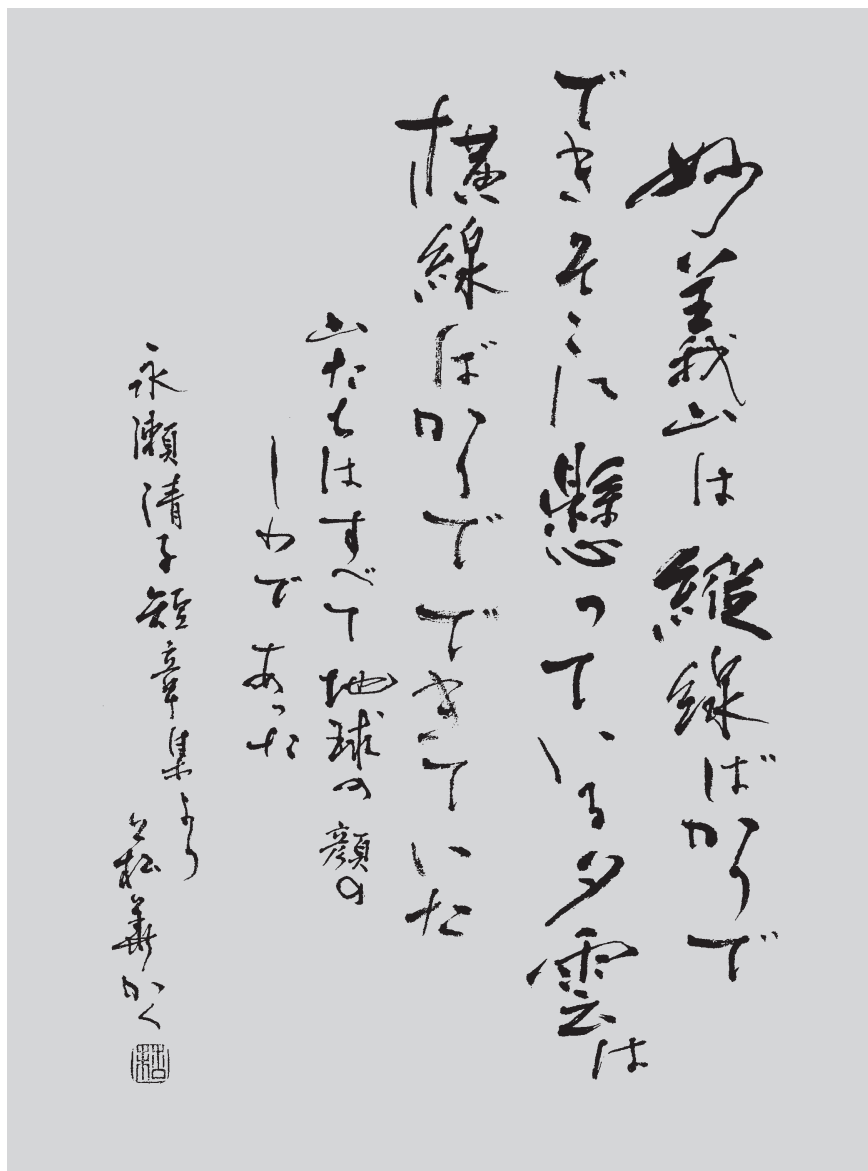
春雨はいたくなかりそ桜花まだ見ぬ人にちらまくもをし(新古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

小暮 菘華 先生 書

- やや長文に挑戦しました。
- 文の終りの部分の文字を小さく書き、前の文章の景色をより強調させる。
- 墨つぎにより、内容を明確に捉える。
- 余白を効果的に作る。

妙義山は縦線ばかりで  
でき、そこに懸っている夕雲は  
横線ばかりでできていた  
山たちはすべて地球の顔の  
しわであった



永瀬 清子(詩人)  
一九〇六年〜一九九五年、岡山県出身。愛知県立第一高等女学校卒業。在学中から佐藤惣之助に師事、「詩の家」同人となる。  
一九四五年岡山県に帰り、農業に従事しながら詩作を行う。詩誌「黄薔薇」創刊、詩集・短章集多数発表。一九四九年岡山県文化賞受賞、現代詩女流賞受賞。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

金聲玉振

訳…もと孟子の語、宇宙にひびく大音楽、千古の名言  
という事。

〈聲について〉

“敲”（けい）の部分の書き方はいろいろあります。特に“爰”  
（るまた）、字典で調べて応用、工夫してみてください。“声”の点の  
ない形も古典に多い。落款は、前後・左右の余白を見て書き入れる。



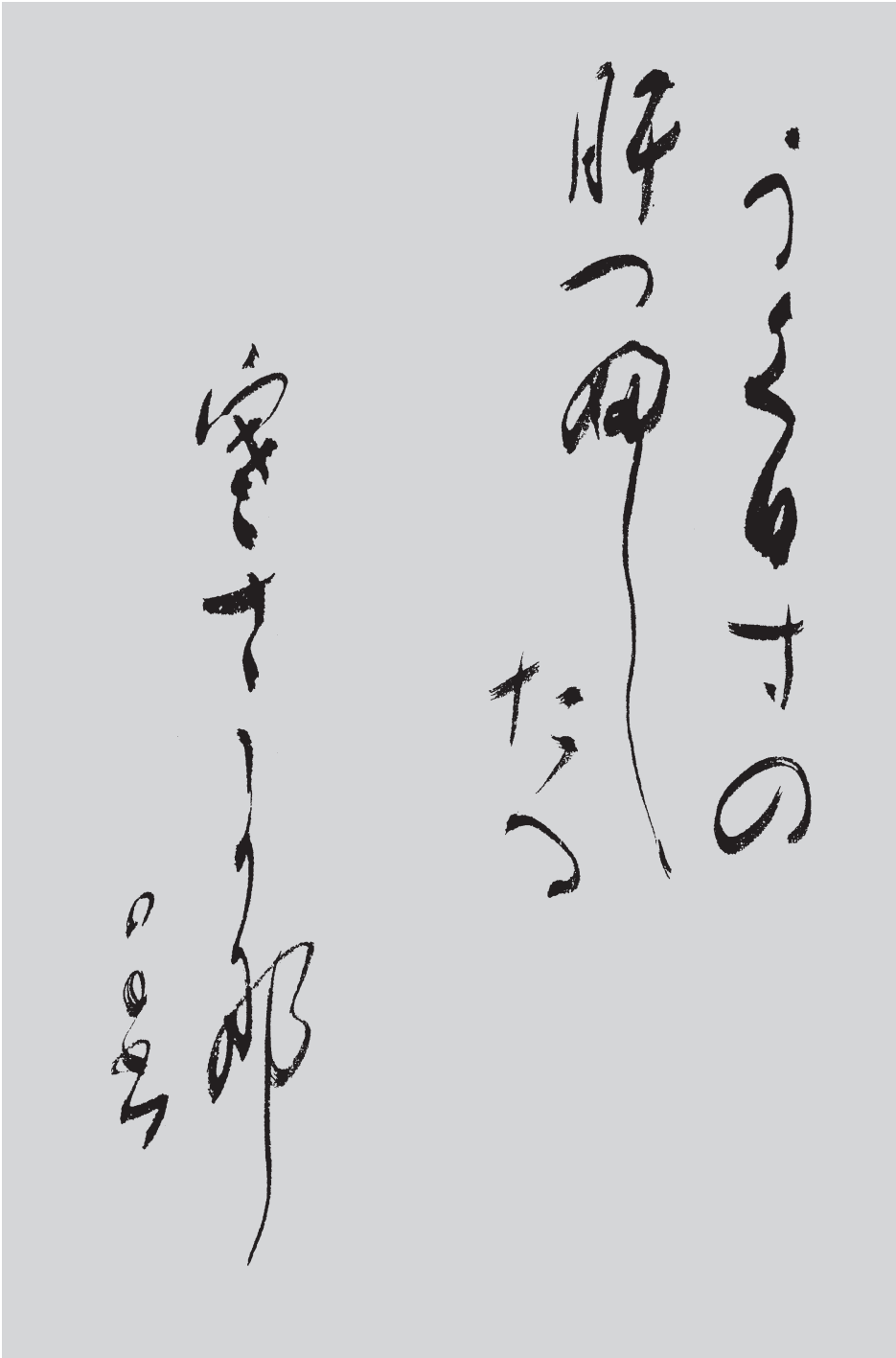
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

うぐひすの肝つぶしたる寒さかな(支考)  
う久日寸の肝つ婦したる寒さ可那



〈部分ポイントについて〉  
右群「肝つ婦し」の部分強調。

特に「し」の活きがポイント。末筆は一瞬鋒先で軽く止め、寄せの「たる」に移る。一般には、「寒」で墨継ぎ。「さ可那」三字連綿。全体の流れにマッチさせる事前の練習によって、リズムを充分習得するように。

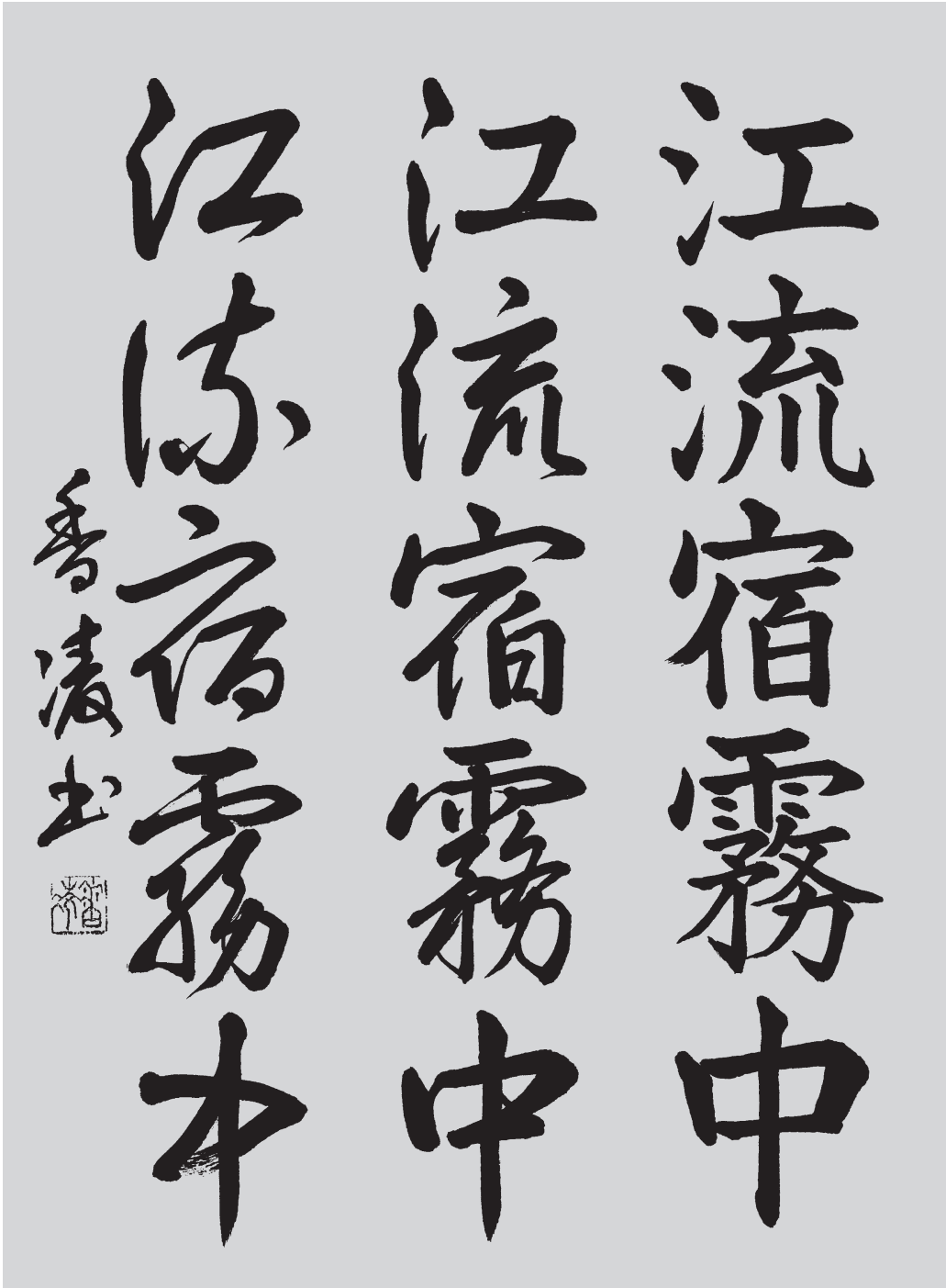
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

高橋香凌先生書

江流宿霧中（杜甫）  
江は宿霧の中を流る。

訳：はれぬ霧の中を江は流れている。



予告 昇試第一部漢字（三月二十二日締切）

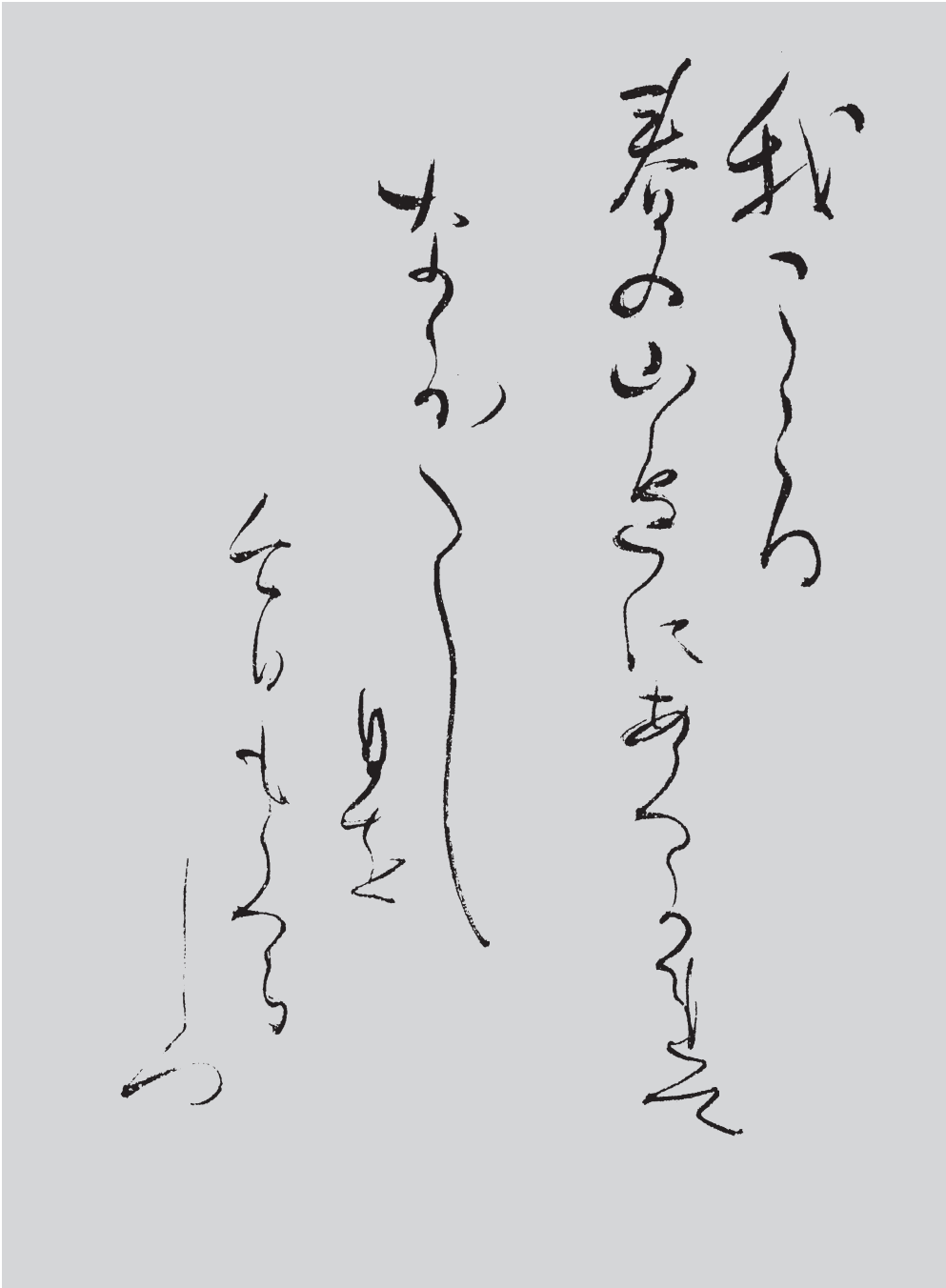
桃花帶雨濃（李白）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

高塚竹堂先生書

わが心<sup>こころ</sup>春の山<sup>やま</sup>べにあくがれてながくし日を今日<sup>けふ</sup>もくらしつ（新古今和歌集 紀貫之）  
我こゝろ春の山<sup>やま</sup>邊<sup>へ</sup>にあく可<sup>か</sup>連<sup>れ</sup>てな可<sup>か</sup>くし日を今日<sup>けふ</sup>も久<sup>く</sup>らしつ



予告 昇試第二部かな（三月二十二日締切）

みむろ山谷にや春の立ちぬらん雪のした水岩たゞくなり（千載和歌集）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

国境の長いトンネルを抜けると  
雪国であった。夜の底が白くなった。  
信号所に汽車が止まった。

三日目の晩は生あたたかい春の晩の  
感じだったので、夜おそくなってから、二人は駅の横手の小さい丘陵の上を歩いた。梅が咲いていた。  
二人は駅の横手の小さい丘陵の上を歩いた。梅が咲いていた。

課題1 (初段階以上)

三日目の晩は生あたたかい春の晩の感じだったので、夜おそくなってから、二人は駅の横手の小さい丘陵の上を歩いた。梅が咲いていた。

「伊那の白梅」 伊集院 静

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。信号所に汽車が止まった。

「雪国」 川端康成